

令和5年度

勝瀬中学校だより <4月号>



飛翔

～勝中生としての誇りを胸に世界へはばたけ～

未来を拓く力を身に付けた 思いやりあふれる人の育成

- 進取の気性を持ち、仲間と共に創造を楽しむ生徒
- 多様性を尊重し、互いの成長を喜ぶ生徒
- 心身を鍛え協働と貢献を重んじる生徒

入学・進級おめでとうございます！

校長 内海 幸一郎

初夏を思わせるような陽気の中、全校生徒709名の新たな学年での学校生活が始まりました。新たに勝瀬中学校の仲間となった234名の新入生は、10日（月）の入学式から早くも13日（木）には新入生歓迎会や部活動オリエンテーションが行われ、部活動体験入部も始まりました。進級した2年生・3年生も、学級開きや学年集会等を通じて、それぞれの学年で身に付ける力や果たすべき役割への理解を深め、早速行動に移しています。

子どもたちのよりよい成長のためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、互いを尊重し、共に育てていく関係が大切です。学校・家庭・地域が一体となり、「チーム勝瀬中」で子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばしていきたいと考えております。今年度の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

先輩の姿が伝わるように

「先輩の姿が伝わるように」と7日（金）の準備登校で新2・3年生が入学式会場や1年生教室づくりに取り組みました。どの生徒も心を込めて丁寧に作業を進めていました。新入生歓迎会や部活動オリエンテーションでは、演出を工夫し、1年生に楽しく参加してもらうことができました。



未来を拓く力を身に付け、世界へ！

勝瀬中学校の校章に込められた願いをもとに、学校だよりを「飛翔」としています。



勝瀬原の自然環境の賛美と学校の発展と躍進を願う「昇り鳥」を中心に、富士見市の地名にちなんで富士山の偉容を等角に表現し、市内5番目の中学校を意味する5本線で縁をあしらってデザインされています。中央の鳥は中学校の「中」を表し、くちばしと目は勉学の象徴であるペン先を意味しています。

鳥が勝瀬原から大空に飛翔する姿は、子どもたちが世界で活躍する様と重なります。子どもたちは勝瀬中学校での3年間を通じて、思いやりをもって互いを認め合いながら勉学や諸活動に取り組むことにより、将来、社会の担い手として多様な他者と協働し新たな価値を創造するなど、自ら未来を拓いていく力を身に付けていきます。学校だよりでは、そうした子どもたちの日々の成長の様子を綴り、ご家庭や地域の皆様にお届けしてまいります。

勝瀬中学校は、縁あってこの学校に集う誰もが互いの願いを形にできる学校でありたいと考えています。子どもたちはもちろん成長を見守る家庭・地域・学校の大人同士もまた互いの交流から輪を広げ、和を大切に育ていけるよう、「地域の学校」として取り組んでまいります。